

社会学部報

◇昭和54年5月30日 学部研究会 発表者 余田博通教授「中国みてあるき」

海外出張

- ・宮田満雄教授 昭和54年6月28日から7月14日まで世界YMCA同盟難民救済委員会出席のため、ジュネーブ(世界YMCA同盟本部)へ。
- ・真鍋一史助教授 昭和54年7月1日から7月31日まで世論の国際比較研究のためイスラエル応用社会調査研究所およびヘブライ大学コミュニケーション研究所へ。
- ・倉田和四生教授 昭和54年7月22日から8月16日まで海外諸大学視察のためソ連、西ドイツ、スイス、フランス、イギリス、カナダ、アメリカへ。
- ・森川 甫教授 同上
- ・中野秀一郎教授 昭和54年7月23日から8月17日まで海外諸大学視察旅行。
- ・高田真治助教授 同上
- ・真鍋一史助教授 昭和54年8月1日から8月17日まで海外諸大学視察旅行。
- ・杉山貞夫教授 昭和54年6月30日から7月6日まで医療社会事情および医療情報化システムに関する研究調査のためマレーシア、タイへ。
- ・杉山貞夫教授 昭和54年8月22日から9月6日まで国際人間工学会連合第7回大会および同連合理事会出席のためポーランドへ。
- ・本出祐之教授 昭和54年7月7日から9月2日まで社会福祉教育と地方自治体社会福祉部の関係の研究のためイギリス(ロンドン)へ。
- ・小関藤一郎教授 昭和54年8月25日から9月14日まで国際労使関係学会およびデュルケーム研究会出席のためフランス(パリ)へ。
- ・領家 穰教授 昭和54年8月27日から9月12日まで中国の学制、産業組織視察のため中国へ。
- ・芝田正夫助手 昭和54年8月17日から8月22日まで図書館事情の調査のため韓国へ。
- ・宮田満雄教授 昭和54年9月30日から10月6日まで第10回アジアYMCA指導者会議出席のため、インド(ニューデリー)へ。

会員の著書

- ・高田真治助教授 「社会福祉大系3 社会福祉の方法」(共著)昭和54年4月 勁草書房
- ・中野秀一郎教授 「社会学のあゆみ」(共著)昭和54年4月 有斐閣新書
- ・余田博通教授 「中国自動車道と地域社会の変動」(

共同研究)昭和54年4月

- ・高田真治助教授 「社会福祉計画論」(社会福祉研究叢書)昭和54年8月 誠信書房
- ・津金沢聡広教授 「近代日本の新聞広告と経営」(共著)昭和54年8月 朝日新聞社

学会消息

◇関西社会学会

第30回関西社会学会は昭和54年6月2日(土)、3日(日)富山大学で開催された。この学会で本学の余田博通教授は第一日の地域Ⅱ部会の司会にあたったほか、倉田和四生教授はシンポジウム「産業化に伴う地域社会」において、都市に関する報告を行った。また第二日の学説史研究部会で小関藤一郎教授は「デュルケームについての一考察」について、萬成博教授は組織の国際比較の新展開—組織社会学のフロント—について研究発表を行った。院生の活躍も目ざましく、春日雅司は「伝統的社会における家産官僚制とその分権化傾向」—ブフェリュンデ封建制とレーエン封建制の性格をめぐって—について発表し、柳原佳子は「逸脱の意味連関」について発表した。なおまた博士課程修了者のシロラモ・アパーテは「最近の日本産業組織研究において用いられる理論的枠組の評価と新しいアプローチの試み」について、木下博道は「自殺論」批判—方法論的問題の提起—について発表を行った。最後の閉会の辞は小関藤一郎教授が行った。

◇社会学史学会

日本社会学史学会の本年度春季大会は6月16日、17日関西学院大学において開催された。本学からは小関藤一郎教授が「デュルケームの宗教研究」について発表を行ったほか、張光夫教授も「レイモン・ウィリアムの文化論」について発表した。

◇日本新聞学会

1979年度総会並びに春季研究発表会が去る6月9・10両日立命館大学において開催された。国際児童年にちなんで、シンポジウムは「子どもとテレビ」をテーマに討議されたほか、個人研究発表が行われ、本学部からは大学院生(前期課程)山中連人氏が「1910年代日本ジャーナリズムにおける朝鮮(人)観」のテーマで発表した。本学部から津金沢教授、真鍋助教授、加藤助教授、芝田助手が出席した。なお、総会において津金沢教授は学会理事に選出された。

◇日本社会福祉学会

第27回大会は9月23・24日名古屋の日本福祉大学で開催され、本学部からは武田建教授が「親を通しての子どもの治療」、大学院生(前期課程)が「ケースワークの自己評価」と題して発表した。

関西学院大学社会学部研究会々則

第1条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。

第2条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の親睦を計ることを目的とする。

第3条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行なう。

1. 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
2. 研究会および講演会の開催。
3. 研究叢書の刊行。
4. その他本会の必要と認める事業。

第4条 本会の会員は次の3種とする。

1. 名誉会員本会の特に推薦するもの。
2. 普通会員本学社会学部専任の教授，助教授，講師，および助手。
3. 賛助会員以上の外申込のあったもの。

第5条 普通会員は年額 14,400円，賛助会員は年額 10,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。

第6条 本会員および本会社会学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の購読費は年額 1,200円とする。

第7条 本会に次の役員をおく。

1. 会長（1名）は，社会学部長をもってあてる。
2. 評議員（6名）は，普通会員の中から互選し，本会の運営に当る。
3. 編集，会計，庶務の各委員は，評議員の中から互選する。
4. 会計監査（2名）は，普通会員の中から互選する。
5. 書記は，社会学部事務長に委嘱する。

第8条 本会役員任期は2年とする。重任を妨げない。

第9条 本会会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。予算決算は総会の承認を得なければならない。

第10条 総会は毎年1回とし，本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。

第11条 本会は事務所を本学社会学部におく。

第12条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

執筆 者 紹 介 (掲載順)

小 関 藤 一 郎	社 会 学 部 教 授	海 野 道 郎	社 会 学 部 助 教 授
倉 田 和 四 生	社 会 学 部 教 授	森 川 甫	社 会 学 部 教 授
牧 正 英	社 会 学 部 教 授	杉 山 貞 夫	社 会 学 部 教 授
遠 藤 惣 一	社 会 学 部 教 授	萬 成 博	社 会 学 部 教 授
西 山 美 瑛 子	社 会 学 部 教 授	春 日 雅 司	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 後 期 課 程 3 年
中 山 慶 一 郎	社 会 学 部 教 授	柳 原 佳 子	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 後 期 課 程 3 年
山 本 剛 郎	社 会 学 部 助 教 授	西 川 美 紀	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 後 期 課 程 2 年
中 野 秀 一 郎	社 会 学 部 教 授	小 原 二 三 夫	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 後 期 課 程 1 年
安 藤 文 四 郎	社 会 学 部 専 任 講 師	滝 川 佳 孝	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 前 期 課 程 2 年
真 鍋 一 史	社 会 学 部 助 教 授	栗 原 和 子	社 会 学 部 大 学 院 博 士 課 程 前 期 課 程 1 年
山 路 勝 彦	社 会 学 部 助 教 授		

社 会 学 部 研 究 会 々 員

会 長	倉 田 和 四 生				
評 議 員	定 平 元 四 良	小 関 藤 一 郎	嶋 田 津 矢 子		
	中 山 慶 一 郎	津 金 沢 聡 広	半 田 一 吉		
会 計 監 査	牧 正 英	張 光 夫			
書 記	山 口 恭 平				
普 通 会 員	杉 原 方	余 田 博 通	田 中 国 夫		
	西 尾 朗	萬 成 博	領 家 穰		
	本 出 祐 之	杉 山 貞 夫	武 田 建		
	遠 藤 惣 一	佐々木 薫	森 川 甫		
	中 野 秀 一 郎	J・ジョイス	宮 田 満 雄		
	船 本 弘 毅	春 名 純 人	紺 田 千 登 史		
	村 川 満	西 山 美 瑛 子	村 山 冴 子		
	安 田 三 郎	W. B. デーヴィス	真 鍋 一 史		
	山 路 勝 彦	海 野 道 郎	山 本 剛 郎		
	加 藤 春 恵 子	高 田 真 治	安 藤 文 四 郎		
	芝 田 正 夫				

1979年12月15日 印刷

1979年12月20日 発行

編集発行人 倉 田 和 四 生

印刷所 ともゑ美術工芸社

〒663西宮市枝川町5-18-302

電話 0798-47-8 3 0 0

発行所 関西学院大学社会学部研究会

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学社会学部内

電話(0798) (51)0912(代表)
(51)3512(直通)

KWANSEI GAKUIN
SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

No. 39

December 1979

The Study Association of Sociology Department
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
Nishinomiya, Japan
